

不都合な真実

日本人の歯は大きくなっている



昔よりも日本人の歯が15%大きくなっている！？

右の写真は当院で矯正のご相談にいらっしゃった8歳のお子さんのCT画像です。

「いつまでたっても前歯がはえてこない」と心配されてお母様とご来院されました。

見てみると、顎の骨の中で前歯が重なって、おしくらまんじゅうしているみたいですね。これではいくら待っても出てこられないばかりか、出る位置も根っこの形も変形してしまいます。



また、次の写真は同じお子さんの写真でまだ生えてきていない歯のサイズを計測しているところです。

現在のお子さんは1～2世代前のお子さんより1本1本の歯が大きくなっていることが多いのです。医学書に載っている歯の寸法は2番目（側切歯）の歯で7.1mmですが多くのお子さんが8mmを超えています。わずか1mmですが昔に比べ15%ぐらい大きいことになります。



歯が裏側に位置していること
隣の「犬歯」は「八重歯」になること
が確実です

なぜ歯が大きくなっているの？

一昨年、その答えとなるレポートが発表されました。これまで、歯が大きくなった要因は「戦後の子どもの栄養環境が改善されたため」とされていたのですが、昨今、特に前歯が大きくなっていることが注目されていました。

前歯はお母さんのお腹にいるときに形作られます。つまり、生後の栄養環境に加えて母体の栄養環境に何らかの変化があったことが分かりました。つまり、母体に「歯を大きくする因子」としてなにか変化があるのでは？その答えは「動物性タンパク」でした。動物実験で動物タンパクの摂取の有無で赤ちゃんの歯の大きさに変化があったそうです。これはお腹に赤ちゃんがいるときだけではなく、現在のお母さんが幼いときからの食生活（動物性タンパクの日常的な摂取）の変化によるもので「妊娠後に動物性タンパクを減らす」ことはあまり意味のないようです。

注意！「様子を見ましょう」はNGです

「そのうちはえてくるかな」と漫然と様子を見ているのでは改善のチャンスを逃すこともあります。現在のCT等の画像診断は顎の中の歯の大きさや形態などを正確に把握できます。経過観察する場合も「いつまで様子を見られるのか？」「現時点では何をすべきなのか？」も考慮して根拠を持って様子を見ていきましょう。